

和水町町制施行20周年記念誌

あなたに、なごみを。



あなたに、なごみを。

和水町
NAGOMIMACHI

和水町町制施行20周年記念誌
2026年2月発行

熊本県和水町 総務課
〒865-0192 熊本県玉名郡和水町江田 3886 番地
TEL.0968-86-3111
<https://www.town.nagomi.lg.jp>

プロローグ

熊本県・和水町が、町制施行20周年を迎えます。
この節目にあたり
これまでの歩みをあらためて振り返ります。

和水町がこの20年、培い、育んできたもの。
それは「豊かな自然」と「人と人とのつながり」です。
この二つが重なり合うことで
和水町を訪れる人も住む人も
「心なごむ町」となりました。
そしてそれは、他のどの町にも真似できない
魅力となりました。



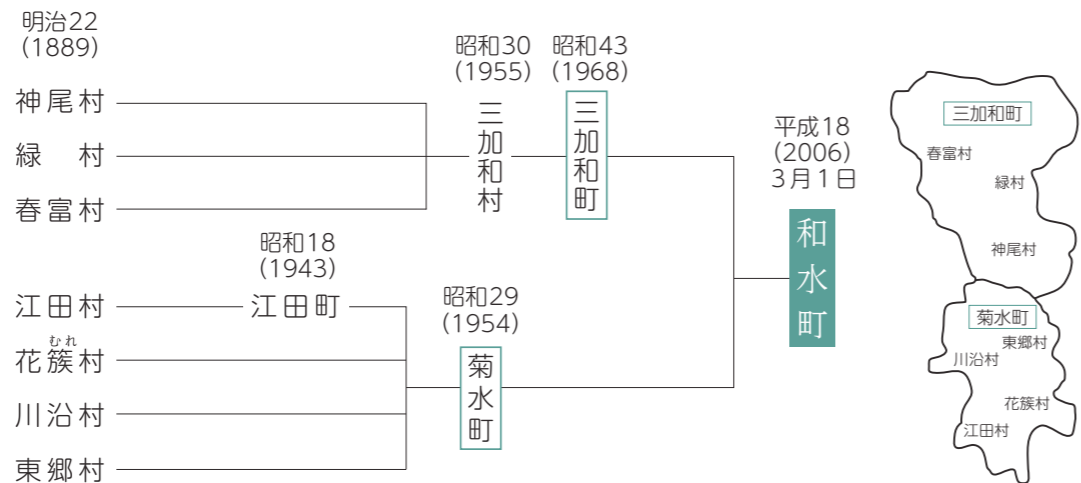
この魅力は決して、当たり前前のことではありません。
二つの町が一つになったからこそ生まれた魅力です。
この機会に和水町の魅力を町民の皆さまと分かち合い
共に祝う20周年にしていきたいと願っています。

これまでの20年を支えてくださった皆さまに
心より感謝申し上げます。
和水町を愛するすべての皆さまとともに
次の20年へ歩んでいきます。

も く じ

25	23	17	15	09	07	03	01
.....
データで見る和水町	和水町町民栄誉賞	20周年記念式典団体表彰	20周年記念特別インタビュー	和水町の、20年。	町長挨拶	「巻頭グラビア」 なごみの、いちねん。	プロローグ

沿革





[巻頭グラビア]

なごみの、
いちねん。



夏
SUMMER

古墳祭

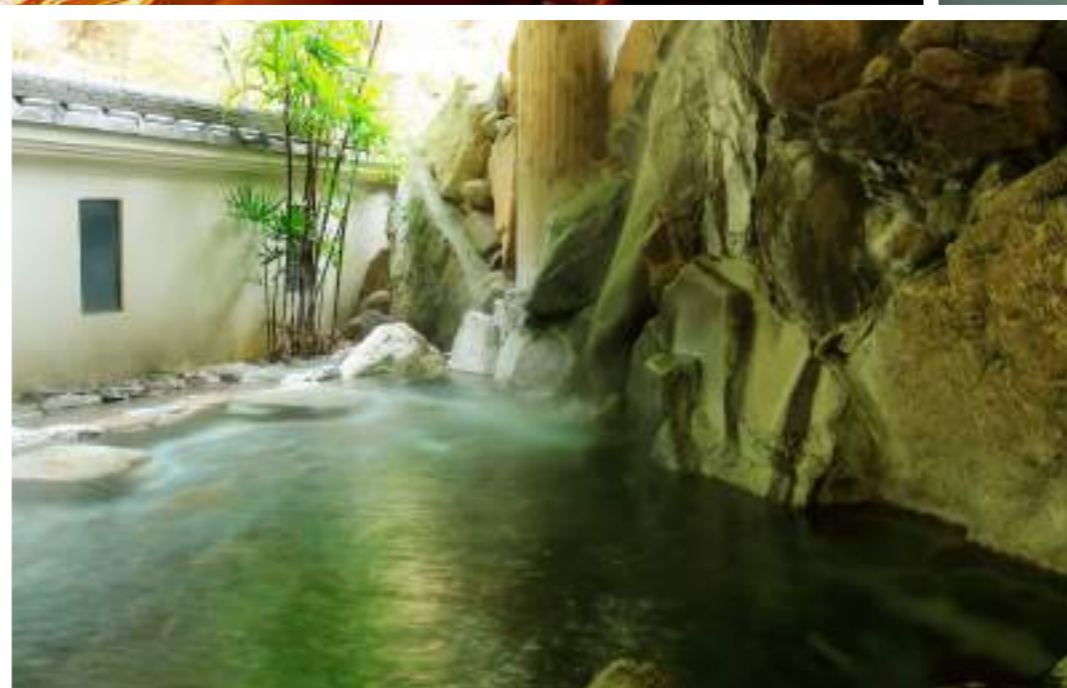
祖先を敬い 未来へ光を灯す炎の祭典
古代衣装を纏っての松明行列や火巫女・ムリテの舞は幻想的



春
SPRING

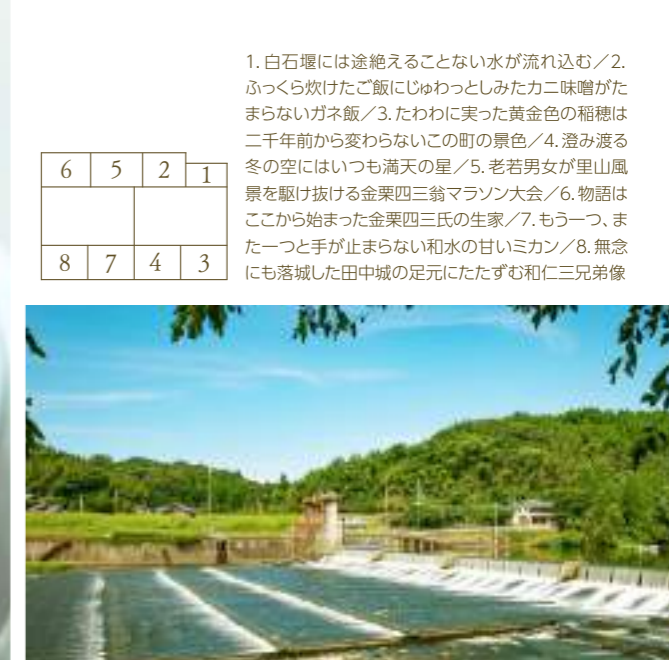
手漉き和紙

江戸時代から明治時代にかけて和紙生産を主産業として栄える
現在も町内外から海外へと手漉き和紙の魅力を伝えている



4	1		
6	5	3	2

1. はっとする美しさで訪れた人を出迎える桜/2. 和水の自然と食をふらっと手ぶらで利用できる和 Water 江田川
カヌー・キャンプ場/3. 春一番に町のあちこちで顔を出す
タケノコ/4. 悠久の流れに乗り 菊池川へ漕ぎ出すカ
ヌー体験/5. とろりとした湯に誰もがとりになる三加
和温泉/6. 太陽の光をたっぷり浴びて育ったみずみず
しく甘いスイカ



6	5	2	1
8	7	4	3

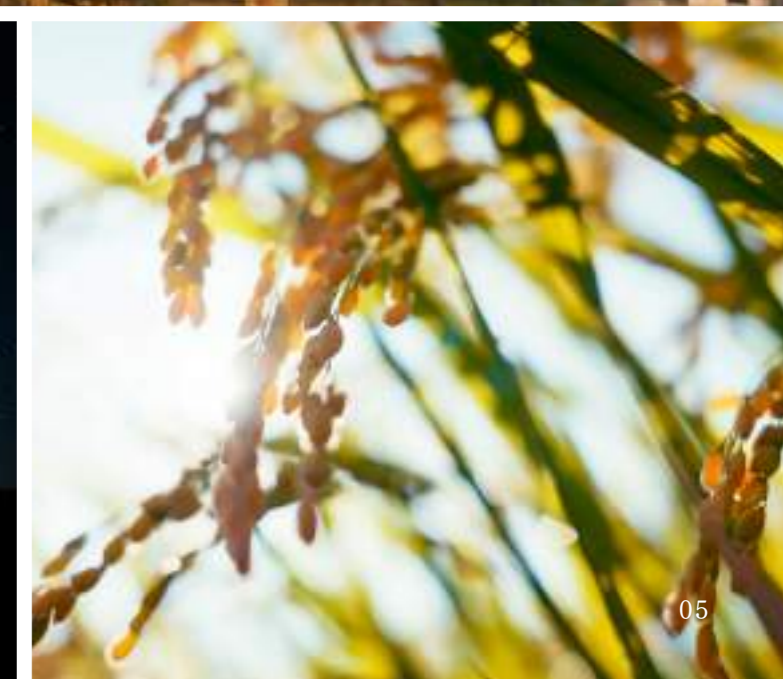
1. 白石堰には途絶えることない水が流れ込む／2. ふっくら炊けたご飯にじゅわっとしみたカニ味噌がたまらないガネ飯／3. たわわに実った黄金色の稲穂は二千年前から変わらないこの町の景色／4. 澄み渡る冬の空にはいつも満天の星／5. 老若男女が里山風景を駆け抜ける金栗四三翁マラソン大会／6. 物語はここから始まった金栗四三氏の生家／7. もう一つ、また一つと手が止まらない和水の甘いミカン／8. 無念にも落城した田中城の足元にたたくむ和仁三兄弟像



冬 WINTER
戦国肥後国衆まつり
 豊臣秀吉が行った「刀狩令」その発端となった肥後国衆一揆を再現する 活気あふれる祭り



秋 AUTUMN
肥後民家村
 美しい緑の中にどこか懐かしい雰囲気漂う古民家が点在 休憩・宿泊体験の中でゆったりした時間が流れる





「笑顔輝き 魅力あふれる 和水町」

和水町での暮らしに誇りと愛着を持ち

先人から受け継いだ豊かな自然と

人と人との絆を大切に

未来に向けて新たな一歩を。



のような取り組みを通じて、歴史と文化を大切にしながら「笑顔輝き 魅力あふれる 和水町」の実現に向けた町づくりを着実に進めております。

この20周年という節目にあり、私たちはこれまでの歩みを振り返りつつ、未来に向けて新たな一歩を踏み出します。

和水町長 石原佳幸

平成18年3月1日に、菊水町と三加和町が合併し「和水町」が誕生して、今年で町制施行20周年を迎えます。

これまでの歩みを振り返りますと、時代が平成から令和へと移り変わる中、熊本地震をはじめとする度重なる自然災害や、コロナ禍という未曾有の事態に直面してまいりました。

歩みを進めてまいりました。

この「なごみ」の精神を礎として、和水町では、町民の皆さまの暮らしに寄り添ったさまざまな施策を展開してまいりました。

写真とともに
振り返る

ともに歩み、くらしを重ねてきた

和水町の、 20年。



和水町誕生(開庁式)



夏期巡回ラジオ体操



ねりんピック 2011 熊本ベタンク交流大会



常陸宮同妃両殿下ご視察



エコア熊本協定調印式

2010 2009 2008 2007 2006

[平成22年] [平成21年] [平成20年] [平成19年] [平成18年]

- 菊水町・三加和町が合併し和水町が誕生
- 和水町菊水浄化センター(下水道処理場の供用開始)
- 和水町長・議会議員一般選挙(初代町長に坂梨豊昭氏、議会議員16人が当選)
- 韓国公州市との姉妹友好調印式(昭和54年9月15日から)
- 中林橋が完成
- 和水町商工会が発足(菊水町商工会と三加和町商工会の合併調印式)

- 三加和温泉郷組合が設立
- 和水町長・議会議員一般選挙(町長に坂梨豊昭氏、議会議員14人が当選)
- 三加和総合支所(現三加和支所)内に「子育てひろば」を開設
- 夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操「和水町大会」が開催(町内外から1533人が参加)
- 和水町地域おこし協力隊第1号を委嘱
- 和水町の町民憲章、「花」「ひまわり」・木「桜」・鳥「つばい」が決定
- ねりんピック2011熊本ベタンク交流大会が和水町総合グラウンドで開催(常陸宮同妃両殿下がご視察)
- 県公共関係と産業廃棄物管理型最終処分場「現工コア熊本」環境計画基本協定を締結
- 和水町古墳祭 卑弥呼を火巫女へ改称し、火巫女とともにムリテを祭りの主人公に
- 和水町オリジナルナンバープレートの交付を開始

- 和水町防炎行政無線が開局
- 和水町女性消防団が発足
- グリーンビレッジ平野の分譲を開始
- 和水町で地上デジタル放送の受信を開始
- 町議会議員の定数が16人から14人へ
- 複式学級解消のため、菊水南小学校と菊水中央小学校の合同授業開始
- 和水町で地上デジタル放送の受信を開始
- 町議会議員の定数が16人から14人へ
- 和水町防炎行政無線が開局
- 和水町女性消防団が発足
- グリーンビレッジ平野の分譲を開始
- 和水町で地上デジタル放送の受信を開始
- 町議会議員の定数が16人から14人へ

2011

[平成23年]

- 和水町地域おこし協力隊第1号を委嘱
- 和水町の町民憲章、「花」「ひまわり」・木「桜」・鳥「つばい」が決定
- ねりんピック2011熊本ベタンク交流大会が和水町総合グラウンドで開催(常陸宮同妃両殿下がご視察)
- 県公共関係と産業廃棄物管理型最終処分場「現工コア熊本」環境計画基本協定を締結
- 和水町古墳祭 卑弥呼を火巫女へ改称し、火巫女とともにムリテを祭りの主人公に
- 和水町オリジナルナンバープレートの交付を開始

2013

[平成25年]

- 県公共関係と産業廃棄物管理型最終処分場環境保全協定を締結
- 金栗四三氏の顕彰銘板を設置
- 三加和温泉ふれあいの森あばかん家(ハウス)が休館
- 和水町立病院 経営形態を地方公営企業法の全部適用へ移行
- 内藤橋が開通
- 株式会社肥後元気村の事業を清算(三加和温泉ふるさと交流センターなど、指定管理へ)

2014

[平成26年]

- 和水町長・議会議員一般選挙(町長に福原秀治氏、議会議員14人が当選)
- 三加和区域3小学校(緑・春富・神尾)を統合し、三加和小学校が開校



和水町商工会合併調印式



三加和温泉郷組合設立



和水町古墳祭 火巫女とムリテ



内藤橋開通



金栗四三氏顕彰銘板



オリジナルナンバープレート



三加和温泉を指定管理へ



三加和小学校開校



グリーンビレッジ平野分譲開始



子育てひろばオープン

時
事
流
行

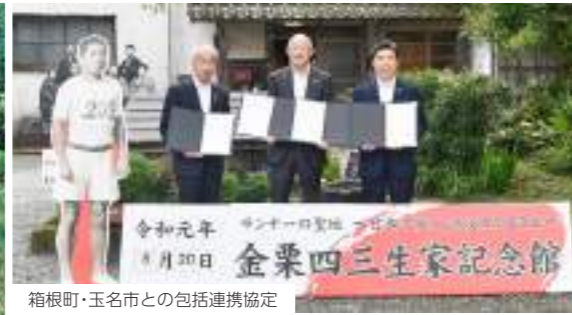
[2006]WBC 初代王者に王ジャパン/日銀ゼロ金利政策解除を発表/新首相に安倍晋三氏/悠仁さま誕生 [2007] 第1回東京マラソン/米サブプライム問題/新潟県中越沖地震/相次ぐ食品偽造問題 [2008] 後期高齢者医療制度スタート/秋葉原通り魔事件/リーマン・ショック/ゆるキャラブーム [2009] 米オバマ大統領就任/マイケル・ジャクソン死去/民主党が大勝、その後政権交代/イチローと松井がMLBで大活躍/ [1Q84]が大ベストセラーに

時
事
流
行

[2010] 日本航空、事実上の倒産/「はやぶさ」地球に帰還/チリ落盤事故発生/ AKB48 ブーム [2011] 東日本大震災/九州新幹線全線開業/ FIFA 女子ワールドカップ優勝/スティーブ・ジョブズ死去 [2012] 東京スカイツリー開業/緊迫する領土問題(尖閣諸島、竹島) /ノーベル賞に山中伸弥教授/衆院選で自公圧勝、政権奪還 [2013] アベノミクス始動/富士山が世界文化遺産に登録/ 2020年五輪開催地が東京に決定/プロ野球楽天が初の日本一



令和2年7月豪雨(町内)



箱根町・玉名市との包括連携協定



菊水小学校開校



なごみん誕生



田中城ミニミュージアムオープン



お試し暮らし住宅1号棟(高野)



和水町福祉センター開館



「あいのりくん」運行開始



菊池川流域が日本遺産に登録



和水町合併10周年記念式典

2021

[令和3年]

- ・旧神尾小学校跡地施設の活用が決定
・たまな圏域電子図書館が開館
・和水町移住定住支援センターを開館
・菰田橋架け替え工事が着工
・旧菊水南小学校跡地施設の活用が決定
- ・高齢者向け新型コロナワクチン集団接種を開始
- ・和水町斎場を老朽化により閉鎖
- ・町道西光寺中林線の全線供用を開始
- ・せきすい斎苑の落成式を開催
- ・和水町学校給食菊水共同調理場が完成
- ・和水町総合グラウンドの供用を開始
- ・東京2020オリンピック聖火リレーが和水町を通過

2020

[令和2年]

- ・旧菊水西小学校跡地施設の活用が決定
・金栗四三生家記念館を閉館(総来館者数8万2859人)
- ・和水町を震源とする地震が発生(震度6弱)
- ・大和ドラマ「いだてん〜東京オリムピック騒〜」放送が開始
- ・金栗四三ミュージアム、金栗四三生家記念館を開館
- ・山鹿市・和水町定住自立圏形成協定の締結
- ・和水町老人福祉センターが閉館
- ・和水町駅きくすいが国土交通省重点道の駅に選定
- ・田中城ミニミュージアムを開館
- ・金栗四三誕生の日(箱根町・玉名市・和水町)包括連携協定を締結
- ・金栗四三ミュージアムが閉館(総来館者数9万1184人)
- ・菊水区域4小学校(中央、南、東、西)を統合し、菊水小学校が開校
- ・藤田さくらタウンの分譲を開始
- ・令和2年7月豪雨「町内全域避難勧告」を発令
- ・旧菊水東小学校跡地施設の活用が決定

2019

[平成31年・令和元年]

- ・農業就業改善センターを老朽化により閉鎖
- ・和水町長・議会議員一般選挙(町長に高岸泰廣氏、議会議員12人が当選)
- ・金栗四三の生家で大河ドラマ「いだてん〜東京オリムピック騒〜」の撮影
- ・山鹿市・和水町定住自立圏形成協定の締結
- ・和水町を震源とする地震が発生(震度6弱)
- ・大和ドラマ「いだてん〜東京オリムピック騒〜」放送が開始
- ・金栗四三ミュージアム、金栗四三生家記念館を開館

2018

[平成30年]

- ・2019年大河ドラマの主人公に金栗四三氏が決定
- ・「米作り、二千年にわたる大地の記憶」菊池川流域「今昔」水稲物語」が日本遺産に認定
- ・町内の小中学校の普通教室にエアコンを設置
- ・和水町お試し暮らし住宅1号棟(高野)をオープン
- ・乗り合いタクシー「あいのりくん」の運行を開始
- ・町議会議員の定数が14人から12人へ

2017

[平成29年]

- ・和水町合併10周年記念式典を開催
- ・和水町空き家バンク制度を開始
- ・熊本地震が発生(和水町震度5弱)
- ・熊本地震が発生(和水町震度6弱)
- ・玉名圏域定住自立圏形成協定を締結
- ・「和水町地域公共交通会議」を設立
- ・町内初のビジネスホテル「ホテルA」熊本和水店が誕生
- ・「三加和温泉ふれあいの森あばかん家」を「和水町福祉センター」として開館

2016

[平成28年]

- ・和水町合併10周年記念式典を開催
- ・和水町空き家バンク制度を開始
- ・熊本地震が発生(和水町震度5弱)
- ・熊本地震が発生(和水町震度6弱)
- ・玉名圏域定住自立圏形成協定を締結

2015

[平成27年]

- ・「和水町地域公共交通会議」を設立
- ・町内初のビジネスホテル「ホテルA」熊本和水店が誕生



新型コロナワクチン集団接種開始



和水町移住定住支援センターオープン



和水町を通過する聖火リレー



町道西光寺中林線全線供用開始



和水町総合グラウンド供用開始



金栗四三ミュージアムオープン



和水町を震源とする地震で被災した江田船山古墳の石棺



玉名圏域定住自立圏調印式



山鹿市・和水町定住自立圏調印式

時 事 流 行 [2018] 西日本で記録的豪雨/安室奈美恵が芸能界引退/DA PUMP「U.S.A.」が大流行 [2019] 天皇陛下が即位「令和」に改元/ラグビーW杯日本大会で日本8強/消費税10%と軽減税率制度がスタート/タピオカブーム [2020] 新型コロナウイルス世界で大流行/東京五輪延期決定/緊急事態宣言発令/令和2年7月豪雨/劇場版「鬼滅の刃」無限列車編が大ヒット [2021] 東京五輪、原則無観客で開催/大谷翔平がMLBシーズンMVP獲得

時 事 流 行 [2014] ソチ五輪で羽生結弦が金メダル/消費税が8%に/御嶽山が噴火/「アナと雪の女王」大ヒット [2015] 箱根駅伝で青山学院が初優勝/ラグビーW杯で日本が3勝の歴史的快挙/マイナンバー制度開始 [2016] カーリング女子世界選手権で日本が準優勝/米オバマ大統領広島を訪問/SMAPが解散を発表/PPAPとポケモンGOが世界で流行 [2017] 米トランプ大統領が就任/英国がEU離脱を正式通知/強毒のヒアリを神戸港で発見/インスタ映えが流行



九如郷との国際交流促進覚書締結式



箱根駅伝観戦ツアー



熊本連携中枢都市圏締結式



4つのコミュニティー施設



町道江田高野線全線供用開始



子ども子育て応援宣言



和水町ふるさと大使の廣田彩花さん



内田橋側道橋の完成



お試し暮らし住宅2号棟(中林)

2026

[令和8年]

- ・和水町町制施行20周年
- ・和水町ふるさと大使に野口みづきさん(2004年アテネ五輪女子マラソン金メダリスト)が就任
- ・和歌山県代表が就任
- ・和水町ふるさと大使に中村花誠さん(舞踊家・鳴り物師)が就任
- ・和水町ふるさと大使に大畑大介さん(元ラグビー日本代表)が就任
- ・和水町ふるさと大使に野口みづきさん(2004年アテネ五輪女子マラソン金メダリスト)が就任

2025

[令和7年]

- ・「なごみアップリ」サービスを開始
- ・和水町と熊本市における熊本連携中枢都市圏形成連携協約を締結
- ・町内の小学校体育館に空調設備を設置
- ・きくすい荘の新施設の改築工事を着工
- ・和水町体育館に空調設備を設置
- ・金栗四三の生家に金栗四三氏の銅像を建立し、銅像の除幕式を開催
- ・九州国立博物館開館20周年記念特別展「九州の国宝 きゅーはくのたから」で江田船山古墳の出土品が展示
- ・中学生海外短期派遣事業を実施(町内の中学生が台湾九如郷を訪問)
- ・町内2カ所に公園が完成(ロマンパーク、いだてんパーク)
- ・和水町ふるさと大使に中村花誠さん(舞踊家・鳴り物師)が就任
- ・和水町ふるさと大使に大畑大介さん(元ラグビー日本代表)が就任
- ・和水町ふるさと大使に野口みづきさん(2004年アテネ五輪女子マラソン金メダリスト)が就任

2024

[令和6年]

- ・和水町のブランドロゴが誕生
- ・第1回箱根駅伝観戦ツアーを開催
- ・春富集会所を閉館
- ・地域のコミュニティー施設として4施設(緑コミュニティドーム、春富コミュニティドーム、春富コミュニティセンター、春富コミュニティ広場)が開館
- ・アスリート・文化人講演会第1回「ナゴミ夢チャレンジトーク」を開催
- ・江田船山古墳発掘150周年記念シンポジウムを開催
- ・第1回和水町子ども議会を開催
- ・和水町のブランドロゴが誕生
- ・第1回箱根駅伝観戦ツアーを開催
- ・春富集会所を閉館
- ・地域のコミュニティー施設として4施設(緑コミュニティドーム、春富コミュニティドーム、春富コミュニティセンター、春富コミュニティ広場)が開館

2023

[令和5年]

- ・道の駅きくすいに防災トイレが整備
- ・町道江田高野線の全線供用を開始
- ・町内小中学校給食費・保育園等副食費の無償化
- ・和水町公式SNS(インスタグラム、フェイスブック)などのアカウントを開始
- ・和水町ふるさと大使に廣田彩花さん(バドミントン日本代表)が就任
- ・子ども子育て応援宣言
- ・金栗四三の生家を改装工事のため休館
- ・第50回和水町古墳祭を4年ぶりに開催
- ・古墳祭ライブを13年ぶりに開催
- ・菊水ロマン館の温浴施設を廃止
- ・町税や料金のコンビニやスマホでの納付を開始
- ・住民票や印鑑証明書のコンビニ交付サービスを開始

2022

[令和4年]

- ・和水町長選挙・議会議員(一般選挙(町長に石原佳幸氏、議会議員12人が当選))
- ・内田橋側道橋が完成
- ・金栗四三の生家をリニューアルオープン
- ・和水町公式LINE本格運用を開始
- ・和水町お試し暮らし住宅(中林)をオープン



ロマンパーク



金栗四三銅像除幕式



きくすい荘の新施設改築工事



いだてんパーク



中学生海外短期派遣事業



九州国立博物館開館20周年記念特別展



発掘150年を迎えた江田船山古墳



ナゴミ夢チャレンジトーク(前園真聖さんと原一樹さん)



第50回古墳祭



和水町子ども議会



古墳祭ライブ(コロッケさんとトニーヒロタさん)

時事流行 [2025] コメ高騰・備蓄米放出／大阪・関西万博／群馬県伊勢崎市で日本歴代最高気温 41.8℃を記録／相次ぐ熊被害／高市早苗氏が初の女性首相に

時事流行 [2022] 新型コロナのオミクロン株感染拡大／ロシアがウクライナへ侵攻／安倍元首相が銃撃受け死亡／英エリザベス女王崩御 [2023] WBC14年ぶり侍ジャパン優勝／ツイッターが「X」に変更／イスラエルガザ侵攻／大谷翔平 MLB 本塁打王 [2024] 能登半島地震／闇バイト強盗多発／米トランプ前大統領が演説中に銃撃される／ノーベル平和賞に被団協／大谷翔平 50-50 と本塁打王



地域の方から学ぶことも多く
私も将来的には、和水町に貢献したいです。

三加和中学校生徒会長
みずしま ゆり
水嶋 結梨さん (下岩)

—生徒会長として心がけていたことは？
水嶋さん 中学2年のころから生徒会副会長をしていました。3年生の意見ばかりではなく、2年生や1年生の意見も取り入れようと思ひ、意見を言いやすい雰囲気を作ることにかけていました。
—和水町のいいところ、好きなところは？
水嶋さん 自然が豊かで、クラスメイトみんな仲が良いことです。保育園から10年以上、一緒に友達もいます。
—地域の人から励まされたことや学んだことは？また、そのエピソードは？
水嶋さん 登下校の時に手を振ってくれたり、声をかけてくれたりしてくれることです。私も落ち込んでいた人がいたら、気を配って話しかけていますが、それは近所の方から学んだのだと思います。

—今後挑戦したいことや目標は？
水嶋さん 将来は半導体の会社で働きたいです。8月に町の事業で、台湾に行きました。初めて海外に行き、良い経験することができました。現在英検準2級を持っていますが、英語をもっと勉強したいです。英語がもっとできるようなって、国内だけでなく海外でも働けるようにしたいです。
—この町や地域への思い、住民へのメッセージをお願いします。
水嶋さん 登下校中の声掛けや習字、読み聞かせなど、地域の方には、普段から私たちのことを気にかけてくれたり、いろいろなことを教えていただきとても感謝しています。和水町はいいところがたくさんあるのて、いいところをもっと発信して、働く場所が増えて、和水町にもっと人が増えるといいなあと思います。私も将来的には、和水町に貢献したいです。



いいところをあげればキリがない
この町に来て人間として成長できました。

菊水中学校生徒会長
いけだ ゆうしん
池田 優心さん (萩原)

—生徒会長として心がけていたことは？
池田さん 1年生の時から生徒会長になりたいと思っていました。自分から見た菊水中は、真面目過ぎる感じがしたので、笑顔とユーモアにあふれる学校にしたいという思いを常に持ち続けて活動していました。
—和水町のいいところ、好きなところは？
池田さん まずは子育てに優しい町だなと思っています。医療費も高校生まで無料だし、進学すれば支援金もあります。また、地域の方が優しい、自然が豊か、江田船山古墳をはじめとする史跡や文化がある、農業が盛んななどいいところをあげればキリがないです。
—地域の人から励まされたことや学んだことは？また、そのエピソードは？

—この町や地域への思い、住民へのメッセージをお願いします。
池田さん この町に来て、周りの方々の優しさに触れたことで、人間として成長できました。この町に来る人が増えるといいなと思っています。



新町名「名付け親大賞」受賞
いしはら
石原 みどりさん
(和仁)

和を尊び清らかな水が
いつまでも流れ続く町に
なっほほしい。

—どのように「和水町」を命名されましたか？
石原さん 新町名を募集していることが分かり、今まで応募なんてしたことなかったのですが、初めて応募してみようと思いました。夫と2人で、辞書を引きながら、町名を考えていたのを今でも覚えています。新町名は「三加和町」と「菊水町」から二文字ずつ取った方がいいのではないかと思ひ、三加和の「和」と菊水の「水」を取って和水町としました。「なごみまち」としたのも響きや語呂がよい、覚えやすいなと思ひました。

—「和水町」にどんな思いや願いが込められていますか？
石原さん 私は約40年前に結婚をし、熊本市内から和水町へやってきました。和水町に来た時の最初の印象は、水がとてきれいなところでした。近くの川では、5月くらいになるとホタルも見ることができましたし、子どもたちもよく川で遊んでいました。町名には、和を尊び清らかな水がいつまでも流れ続く町になっほほしいという思いも込められています。
—この20年間でうれしい出来事はありましたか？
石原さん 5年ほど前に退職しましたが、近くの保育園で保育士として働いていました。保育園で見ていた子が、大人になってその子の子を連れてきたときに、大人になっほほしいと成長を見られてとても嬉しいと感じました。

—これから先の20年、どんな町になっほほしいですか？
石原さん 子どもからお年寄りまで、触れ合う機会やみんなが集まる場所があるといいなと思います。特に新型コロナウイルスが流行した以降、近所の方でもあんまり会わなくなっほほしい方がいて、若い人の力で、もっと活気が生まれる町になっほほしいです。
—若い世代や子どもたちに伝えたいことはありますか？
石原さん 和水町を離れて、遠くで仕事をしている方も、数日でもいいので和水町へ帰っほほしいと嬉しです。和水町は、冬だと星や月がきれいに見えます。安心できる場所があっほほしい、ともしリッシュができますよ。

20周年記念
特別インタビュー

新町名の名付け親

菊水町と三加和町が合併することが決まり「希望あふれ、人と地域が輝くまち」にふさわしい町名を、両町の住民をはじめ、全国へ一般公募しました。全国から多くの応募があり、新町名に「和水町」が選ばれました。今回は、その和水町と応募された方の一人、当時「名付け親大賞」を受賞した石原みどりさんへインタビューを行いました。

次世代の担い手

これからの和水町を担う次世代の代表として、三加和中学校と菊水中学校の生徒会長のお二人にもその思いを語っていただきました。

20周年記念式典 団体表彰

和水平町が誕生して20年。この大きな節目を迎えることができたのは、20年という長い月日、地域に根差し、さまざまな活動を通して町を支えてくださった皆さまの存在があったからこそです。記念式典では、町の発展に多大な貢献をされた団体の皆さまへ、深い感謝の気持ちを込めて「功労者表彰」を授与いたします。ここに、受賞される団体の皆さまをご紹介します。

※団体名および代表者名は、令和8年1月1日現在のものです。



01 和水平町消防団
団長 小山亮さん

和水平町消防団は、火災や風水害など多様な災害から住民の生命・財産を守るため、昼夜を問わず献身的な活動を続けています。平時には防災啓発や応急手当講習などにも取り組み、地域防災力の向上に貢献してきました。これからも団員が連携して技術を磨き、安心して暮らせる地域づくりに力を尽くしていきます。



**02 玉名地区交通安全協会
和水平支部**
支部長 池田誠さん

玉名地区交通安全協会和水平支部は、街頭啓発や児童への交通ルール指導、見守り活動などを通して住民の交通安全意識の向上に取り組んできました。行政や学校、警察と連携した実践的な活動は地域に根つき、事故防止に寄与しています。今後も協働の輪を広げ、誰もが安心して暮らせる交通環境づくりを進めていきます。



**03 和水平町交通安全
母の会**
会長 坂本由美子さん

和水平町交通安全母の会は、通学路での街頭指導や交通安全教室、季節ごとの啓発活動などを通じて、子どもや高齢者など交通弱者の安全を支えてきました。母親ならではの視点で地域に寄り添い、交通マナー向上に貢献しています。これからも温かく力強い活動を続け、事故のない地域社会の実現に努めていきます。



04 和水平町交通指導隊
隊長 庄山桂太郎さん

和水平町交通指導隊は、通学路や交差点での交通指導、交通安全運動での啓発活動、イベントでの交通整理など、地域の実状に応じた取り組みを続けてきました。住民に寄り添った交通指導は事故防止に成果をあげています。今後も責任ある活動を通じて、より安全で安心な交通環境づくりに進めていきます。



05 夢ランド十町
会長 北原康弘さん

夢ランド十町は、地域の子どもたちに体験の場を提供する「ちびっ子夢ランド」や、マラソン大会での豚汁配布、各地区での祭り開催など、地域のにぎわいづくりに貢献してきました。「できる人ができることをできる時に」をモットーに、これからも地域の夢と活力を育て、より元氣な十町地区を目指して活動を続けます。



**06 吉地の里づくり
推進協議会**
会長 小山暁さん

吉地の里づくり推進協議会は、美化活動や避難訓練、地域交流イベントに加え、金栗四三氏の顕彰活動や語り部育成など、地域の魅力発信に力を注いできました。観光資源の学習やマラソン大会支援を通して交流人口の拡大にも貢献。今後も地域の歴史と魅力を未来につなぎ、住みよい吉地地区の実現へ取り組みを深めていきます。



07 なごみの里協議会
会長 北原望さん

なごみの里協議会は、荒廃していた里山の再生に取り組み、大学・企業との協働で整備を進めてきました。農業体験や成つくりなど、子どもから大人まで楽しめるイベントを開催し、学びと交流の場を提供。地域の風習や知恵の継承にも力を入れています。今後も人と自然が寄り添う地域づくりを進め、魅力ある里づくりに挑戦していきます。



08 みどりの里上板楠
会長 蒲池恭一さん

みどりの里上板楠は、畑の「かかし祭り」やマラソン大会での応援、夏祭り出店など、地域のにぎわい創出に寄与してきました。菜種油販売やほたる祭りなど地域の特徴を活かした活動も展開。東山公園の管理を担うなど地域愛を育んできました。これからも地域の笑顔を生む活動を続け、活性化への歩みを進めていきます。



09 菊水ボランティアの会
会長 宮地洋子さん

菊水ボランティアの会は、役場前や肥後民家村周辺、公民館などで清掃・植栽活動を長年続け、地域と訪問者に四季の花の安らぎを届けました。「できることを、できるときに」を合言葉に、景観づくりを通して地域振興に貢献。今後も花と緑あふれるまちを目指し、地道な活動を積み重ねていきます。



10 和水町商工会

会長 東 隆文さん

和水町商工会は、経営相談や補助金申請支援、創業・事業承継など幅広い支援を行い、町内商工業者の経営力向上に寄与してきました。地域経済の活性化や福祉の増進を目的に、行政と連携した取り組みを進めています。今後も地域企業の伴走者として信頼を深め、持続可能な地域経済の発展に力を注いでいきます。



11 和水町観光協会

会長 東 隆文さん

和水町観光協会は、地域の文化や資源を活用した観光事業を推進し、イベント企画や広報PRを通じて観光振興に貢献してきました。古墳や温泉を活かした魅力発信にも積極的です。今後も官民連携を強めながら観光の可能性を広げ、訪れる人にも選ばれる地域づくりを進めていきます。



12 和水町ふるさとガイドの会

会長 平 静子さん

和水町ふるさとガイドの会は、田中城跡や八つの神様、金粟四三の生家など、三加和地域の史跡を案内し、町の魅力を伝えてきました。培った知識と経験をもとにガイドの質向上にも取り組んでいます。今後も訪れる人にも新たな発見を届け、歴史と文化を未来へつなぐ活動を深めていきます。



13 和水町観光案内の会

会長 永田尚稔さん

和水町観光案内の会は、江田船山古墳や肥後民家村など菊水地域の文化・歴史を案内し、地域の魅力を発信してきました。ガイドならではの視点を活かし、親しみやすい案内に努めています。今後は後継者育成にも力を入れ、地域の知恵と魅力を次世代へ確実に受け継いでいきます。



14 関西和学生会

会長 吉田亨さん

関西和学生会は、関西在住の和水町出身者が交流し、故郷とのつながりを育む場として活動してきました。総会を通じて親睦を深め、会員同士の絆を高めています。今後はふるさとへの思いを共有しながら、地域との交流をさらに広げ、和水町の発展に寄与していきます。



15 和水町食生活改善推進員協議会

会長 坂本美枝子さん

和水町食生活改善推進員協議会は「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に、減塩料理の学習や伝承料理の普及など、食を通して健康づくりに取り組んできました。乳幼児から高齢者まで幅広い世代を支えています。今後も積み重ねた知識を生かし、住民の健康を支える活動を続けていきます。



16 和水町民生委員・児童委員協議会

会長 池上久美子さん

和水町民生委員・児童委員協議会は、住民の悩みや困りごとにより添い、行政と連携しながら必要な支援を届ける役割を担ってきました。挨拶運動や訪問活動を通して地域のつながりを深めています。今後も誰も孤立しない地域を目指し、寄り添い続ける支援活動を広げていきます。



17 和水町老人クラブ連合会

会長 平居俊博さん

和水町老人クラブ連合会は、清掃活動や見守り活動、健康づくり教室の開催などを通じ、地域福祉の向上と健康寿命の延伸に取り組んできました。会員同士の交流活動も積極的です。今後も「健康・友愛・奉仕」を掲げ、豊かな高齢期の実現と地域への貢献をさらに進めていきます。



18 和水町シルバー人材センター

会長 筑紫巖さん

和水町シルバー人材センターは、高齢者が持つ経験と能力を生かせる場を提供し、働く喜びと社会参加の機会を創出してきました。自主・自立・共働・共助の理念のもと活動を継続しています。今後も安全を第一に、無理なく長く働ける環境づくりを進め、地域の担い手として役割を広げていきます。



19 なごみAGC

会長 井島繁利さん

なごみAGC会は、農業技術や生活改善技術の習得を通じて農業振興に寄与し、温泉宅配などの社会貢献活動も展開してきました。会員同士の交流を深めながら地域農業を支えています。今後も技術継承と地域活性化に力を注ぎ、次世代へつなげる農業の未来を育んでいきます。



20 和 Water 町認定農業者協議会
会長 池田精一郎さん

和 Water 町認定農業者協議会は、農業経営の改善に向けた研さんと情報交換を重ね、安定した農業経営の実現に取り組んできました。社会貢献活動として農産物提供にも携わっています。今後も地域農業の担い手として責任を果たし、持続可能な農業の振興に努めていきます。



21 三加和有害鳥獣駆除隊
隊長 池田正人さん

三加和駆除隊は、増加する有害鳥獣から農地と住民生活を守るため、迅速な駆除対応と見回りを続けてきました。危険を伴う活動の中で地域の安心に大きく貢献しています。今後も行政と連携しながら安全を守り、農業と暮らしを支える強固な体制づくりを進めていきます。



22 玉名猟友会菊水支部
支部長 菊池康毅さん

玉名猟友会菊水支部は、イノシシをはじめとする有害鳥獣の駆除を通して農作物被害の軽減に尽力してきました。熟練の技術と使命感をもって地域の安全確保を担っています。今後も自然と共存しながら、安心できる地域環境を次世代へ継承するための活動を続けていきます。



23 和 Water 町建設業協会
会長 堤藤憲さん

和 Water 町建設業協会建友会は、災害協定に基づき災害発生時の初動対応を担い、地域インフラの維持に貢献してきました。行事運営支援や意見交換会を通じ行政との信頼も深めています。今後も技術力向上と連携強化を図り、地域社会の安心と発展を支える存在として取り組みを継続していきます。



24 和 Water 町みかわ手漉き和紙保存会
会長 小山暁さん

和 Water 町みかわ手漉き和紙保存会は、伝統技術の継承と体験学習を通じて子どもから大人まで和紙文化を伝えてきました。国内外からの体験者も増えていきます。今後も文化的価値を守りながら和紙の魅力を広げ発信し、地域の誇りとして未来へ継承していきます。



25 和 Water 町地域婦人会
会長 坂本由美子さん

和 Water 町地域婦人は「助けあい、励ましあい、志高く」の精神のもと、青少年育成や福祉活動、環境美化など幅広い活動を展開してきました。人づくりを通して地域の発展に寄与しています。今後も女性の力を結集し、心豊かな地域づくりを進めていきます。



26 和 Water 町青年団
団長 井愛弥さん

和 Water 町青年団は、お祭りの運営や子ども向けイベントの開催を通じて世代間交流の場を生み、地域のにぎわいづくりに貢献してきました。高齢者支援にも取り組み、地域に寄り添う活動を重ねています。今後も若い力で地域を元気にし、未来を担う仲間づくりを進めていきます。



27 和 Water 町文化協会
会長 福原明さん

和 Water 町文化協会は、多彩な部会活動を通して音楽・舞踊・俳句など文化芸術の普及に努め、11月の文化祭では発表の場を提供してきました。初心者から熟練者まで誰もが楽しめる環境を整えています。今後も文化の力で地域の心を豊かにし、学びと交流の輪を広げていきます。



28 和 Water 町スポーツ協会
会長 武田正巳さん

和 Water 町スポーツ協会は、住民の健康増進とスポーツ振興のため、地域大会への参加やイベント開催を続けてきました。生涯スポーツの推進にも尽力しています。今後もスポーツを通じて活力ある地域づくりを進め、誰もが健やかにスポーツを楽しめる環境づくりを目指します。



29 クラブなみ
会長 荒木拓馬さん

クラブなみは、前身であるなみクラブでんクラブの時から住民にスポーツの機会を提供し、会員同士の交流を深めながら町のスポーツ振興に寄与してきました。水泳教室など子どもへの取り組みも行っています。今後も多世代が気軽に参加できる活動を広げ、地域交流の活性化と健康づくりに貢献していきます。



名誉町民 かなくりしそ 金栗四三さん (1891-1983)

1891年、旧春富村に生まれる。日本人初のオリンピック選手として、ストックホルム五輪に出場。現役を退いた後は、日本スポーツ界の発展や女子スポーツの普及、後進の育成に尽力しました。箱根駅伝創設者のひとりでもあり「日本マラソンの父」とも呼ばれます。1984年、三加和町(当時)名誉町民を授与。



提供:熊本市現代美術館

画家・版画家

ひでしま ゆきお 秀島由己男さん

(1934-2018)

本名: ひでしまゆきお 秀嶋幸雄。水俣町(現水俣市)に生まれる。母校の美術講師の画塾で水彩画の指導を受け、歌人・いしなれみちこ 石牟礼道子と出会う。はまたちめい 浜田知明やえびはらまのすけ 海老原喜之助に師事し、ペン画・銅版画などを学ぶ。その後、東京都などに拠点を移す。1975年、第1回ユベスキュラ・グラフィカ・クリエイティブ国際版画トリエンナーレ展(フィンランド)にてディプロマ賞受賞。1992年、旧三加和町津田に移住。生涯にわたり数々の作品を残す。その緻密で繊細な作風は数々の国内外の賞を受賞。代表作に『霊歌』『詩画集「彼岸花」』など。和水平町在任時には、石牟礼道子氏の新聞掲載小説『春の城』の挿絵を担当。令和7年度熊本県近代文化功労者。



バドミントン選手

ひろた さやか 廣田彩花さん

(1994-)

旧菊水町竜門に生まれる。菊水西小学校～菊水中学校～玉名女子高等学校卒業。家族の影響で小学校入学前からバドミントンを始める。小学6年生の時に第15回全国小学生バドミントン選手権大会に熊本県代表として出場。学生時代から華々しい成績を収める。社会人になると女子ダブルスの日本代表選手となり、2017年、スーパーシリーズファイナルズ準優勝、第23回世界バドミントン選手権大会準優勝(以降3年連続)。2018年、6月に初めて世界ランキング1位となり、計88週間に渡り、1位の座を保持。2020年、全英オープン優勝。2021年、東京五輪ベスト8。現在は岐阜 ブルビック Bluvic 在籍。和水平町ふるさと大使。

和水町 町民栄誉賞

記念式典では、新たに「町民栄誉賞」を贈ります。広く町民に敬愛され、社会に明るい希望を与える顕著な功績があった個人を称えるこの賞は、和水町として初めての授与となります。かつて、三加和町で名誉町民となられた金栗四三さんに続く、郷土の誇りです。ここに、受賞者の皆さまをご紹介します。



水泳選手

なかしま いさお 中嶋功さん

(1941-)

旧神尾村野田に生まれる。神尾小学校～玉名北中学校～鹿本高等学校～日本大学卒業。幼少期より和仁川で泳ぎ始め、中学生から水泳部に入部して本格的に水泳を始める。1961年から73年の間に100mバタフライで日本記録を7度更新。1962年、100mバタフライで日本人として初めて1分の壁を破る59秒8の記録を樹立。1964年、100mバタフライで58秒4の世界歴代2位、当年度世界1位を記録し、東京五輪に出場。400mメドレーリレー5位入賞(4分06秒6)を果たす。1966年、アジア大会バンコク会場100mバタフライ優勝。400mメドレーリレー優勝。その他、国際大会や海外遠征に多数出場、泳いだ総距離6万2000km(昭和28年から)。



水泳選手

いしはら かつき 石原勝記さん

(1939-)

旧神尾村岩に生まれる。神尾小学校～玉名北中学校～鹿本高等学校～日本大学卒業。幼少期より岩村川で泳ぎ始め、中学生から水泳部に入部して本格的に水泳を始める。1957年、400mメドレーリレーで世界記録を樹立。1960年、全日本選手権100m自由形において、2度優勝。同年、ローマ五輪男子100m自由形に出場し、準決勝で5位(記録57秒8)。1961年から75年の間に、50m自由形で3度の日本記録を更新(記録25秒3)。1964年の東京五輪男子4×100m自由形リレーに出場。日本選手の要として活躍。その他、国際大会や海外遠征に多数出場、泳いだ総距離4万km(昭和28年から)。

和水町のイメージを伝えるロゴが誕生しました。



あなたに、なごみを。

和水 **+** **町**
NAGOMIMACHI

↓ ロゴ

山々と川は歴史と未来を象徴し、その恵みは稲穂を通して表現しています。上下に配された手と手はそれぞれが「人と人とのつながり」を表しながら、ロゴ全体をやさしく包み込む輪郭となることで「人と自然とのつながり」をも体現します。

全体的に丸みを帯びたデザインは、人と自然が調和する様子を感じさせ、まちの誇りと未来への希望を象徴したロゴです。

↓ キャッチコピー 「あなたに、なごみを。」

自然と人という双方の魅力それぞれが、人々の気持ちに「なごみ」をもたらす、和水を訪れるすべての人に「なごみ」を…。そんな想いをストレートに表現しました。キャッチコピーの中に町名を忍ばすことができることは非常に稀有で幸運なことです。



第7回日本国際観光映像祭 優秀賞

和水町プロモーション動画 「あなたに、なごみを。～熊本県和水町～」

令和5年度に制作したプロモーション動画「あなたに、なごみを。～熊本県和水町～」が、観光映像の国際コンペティション「第7回日本国際観光映像祭」にて、日本部門のCity Promotion カテゴリーで、優秀賞を受賞しました。

和水町の四季折々の豊かな自然、地域に息づく文化、そして人々のぬくもりを丁寧に映像化し、「なごみ」の時間を感じられる作品として高く評価されました。ぜひ、多くの方々に、この動画を通じて、和水町の魅力に触れていただければ幸いです。



「なごみまちのうた」ができました。



和水町 PR ソング「なごみまちのうた」を作成しました。一度聴いたら口ずさみたくなるメロディに乗せて、和水町の魅力を届けます。



くらしをもっと便利に、手軽に「なごみアプリ」誕生。



和水町のデジタルサービスを一つにまとめた和水町の公式ポータルアプリが誕生しました。町からのお知らせをまとめて確認できるほか、いくつかの便利な機能が利用できます。

iOSの方
(App Store)



Androidの方
(Google Play)



和水町の情報はこちらからも。

▼和水町公式 LINE



▼和水町公式 Instagram



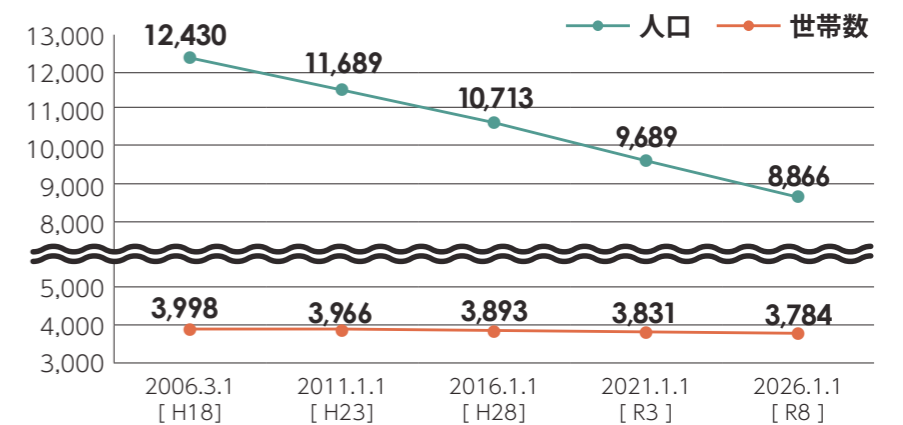
本誌巻頭グラビアの写真の一部は、和水町公式 YouTube チャンネルにアップされている町のプロモーション動画から掲載しています。公式チャンネルでは、上記以外にもさまざまな動画を用意し、全国へ和水町の魅力を発信しています。この機会にぜひご視聴ください。

データで見る和水町

人口 (R8.1.1)

8,866人
男 4,272人 / 女 4,594人

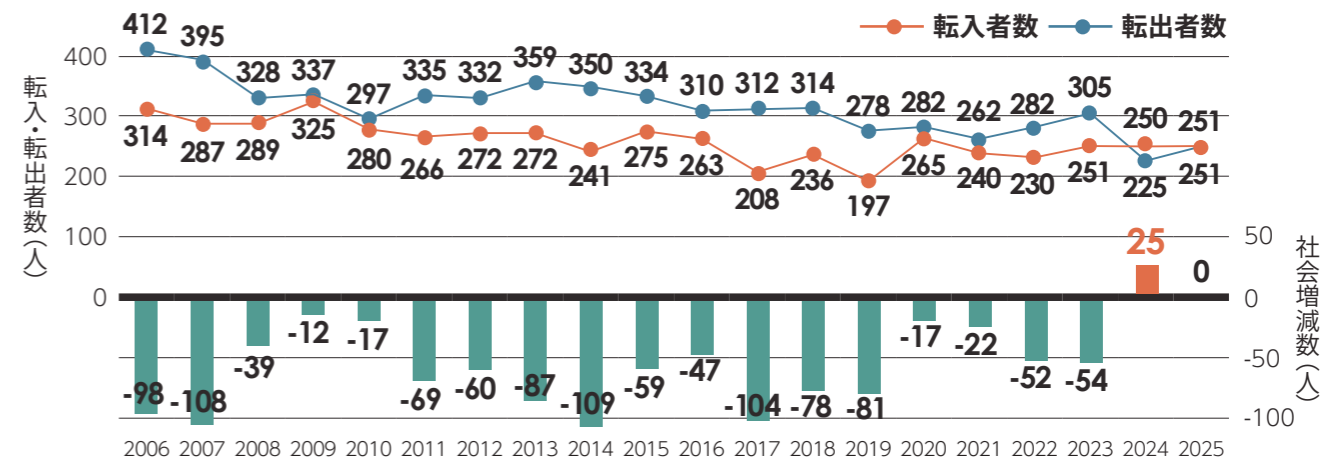
人口と世帯数の推移 (住民基本台帳より)



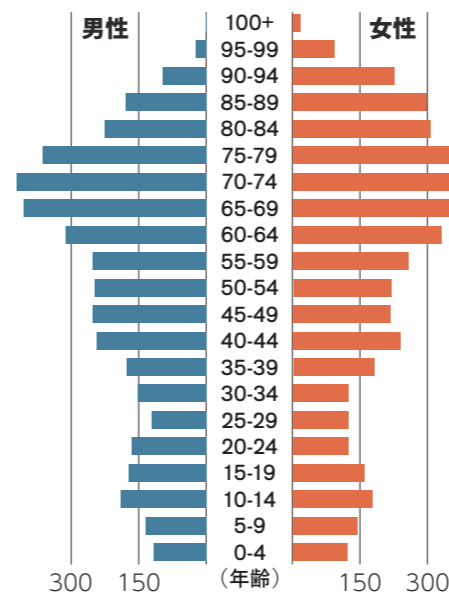
世帯数 (R8.1.1)

3,784世帯

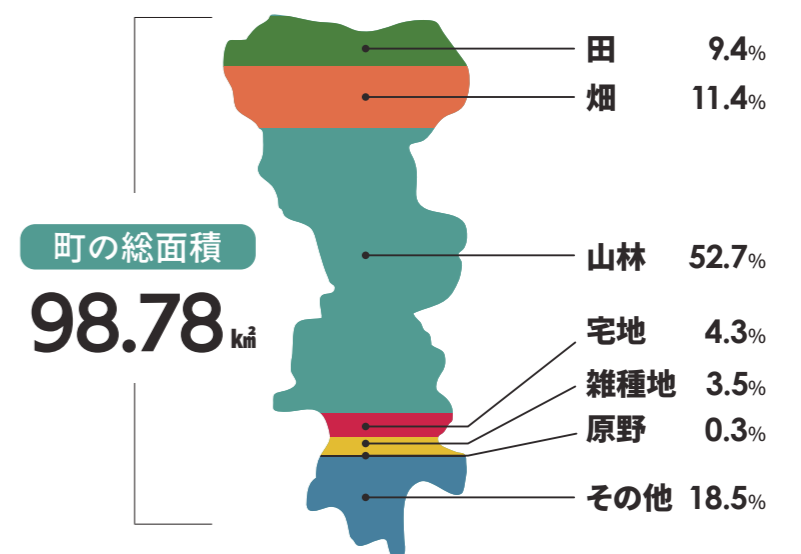
社会増減の推移 (住民基本台帳より)



人口ピラミッド (R8.1.1)



土地利用状況 (R7.1.1 概要調書より)



町の総面積
98.78 ㎩